

第9回 「くすりのしおりクラブ」 担当者会議

くすりのしおりコンコダンス委員会 宮武 昌也

くすりのしおり®を作成している製薬企業161社の担当者
とくすりの適正使用協議会との情報交換の場として、第9回
「くすりのしおりクラブ」担当者会議を2016年1月29日に大手
町サンスカイルームで開催しました。

「英語対応薬局で拓かれた医薬品情報の新たな 領域」、「医師から見た薬剤師と医薬品情報の 新しい関係」の2題で講演

講演1では、株式会社ダイチク（アイングループ）県央A ブ
ロック ブロック長の井上 幹雄先生をお招きし、「英語対応
薬局で拓かれた医薬品情報の新たな領域」をテーマにご講
演いただきました（写真）。井上先生は英語の薬剤情報発
行システム（MINTS：Medical Information Translation
System）をご自身で開発し、外国人や海外渡航する日本人に
対して年間1,000件を超える情報提供を行っています。2020
年には東京オリンピック・パラリンピックの開催で多くの外国
人観光客が訪れ、英語による情報提供の必要性が増すこと
が予測され、委員会としても英語版くすりのしおり®の充実を
急ぐ必要があると感じました。

講演2では、ファルメディコ株式会社代表取締役社長であ
り、日本在宅薬学会理事長の狭間 研至先生をお招きし、「医
師から見た薬剤師と医薬品情報の新しい関係」をテーマに

ご講演いただきました。狭間先生からは、外科医であり、かつ
薬局経営者である視点から、薬剤師に求められる医薬品情
報提供の今後の在り方がわかりやすく説明されました。調剤
業務だけでなく、患者さんを訪問し積極的に情報交換する
薬剤師像は、古いイメージを一新する興味深い内容でした。

くすりのしおり®の現状、 くすりの適正使用協議会の活動等について報告

くすりのしおりコンコダンス委員会からの活動報告とし
て、コミュニケーション促進動画（入院編、在宅編）の作成・
公開、学会活動、くすりのしおり®作成基準（第四版）の改訂
について報告しました。また、協議会事務局からはくすりのし
おり®の利用状況、システム改修予定、英語版くすりのしおり®
ガイドライン（第三版）の改訂について報告されました。くす
りのしおり®のHP掲載数は、2015年12月末時点*で日本語版
15,041品目、英語版4,985品目と順調に伸びています。今後
は、ホームページのスマートフォン対応や検索機能強化によ
り、さらに使いやすいシステムになる予定です。協議会は、“コ
ンコダンス”の実現に向けて、くすりのしおり®がコミュニ
ケーションツールとして医療現場でさらに活用されることを
目指し今後も活動していきます。

※2016年4月末現在、日本語版14,791品目、英語版5,116品目を掲載

